



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第4巻第
1号)

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第4巻第1号). 泌尿器科紀要 1958, 4(1): 60-60

ISSUE DATE:

1958-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/111550>

RIGHT:

編集後記

第8回泌尿器科中部地方会が11月3日大阪市大桜根教授会長の下に行われた。折からの秋日和にて参会者も多く広い労働会館の会場も殆ど空席がなかつた。

大阪市大田村峯雄助教授の特別講演「尿路カンディダ症に就いて」は充分な文献的考察と多年に亘る研究成果の発表であつて、殆どあますところないものであつた。もう一つの特別講演は大阪通信山本弘部長の「非淋菌性尿道炎に就いて」であり、これも全く専門的の領域であり、殊にPPLOに関しては他の追従を許さぬものである。

一般演説は従来に比べて内容が大いに充実し活気が出て来た。どの報告にも教えられるところがあつた。追加、質問、討論などは今までになく活発であつた。本誌前月号に大村教授も言つていられる如く、感心した点があればほめることもよく、また若い人ばかりでなく経験者或は機関の責任者なども大いに発言するのがよいと思う。

医科大学が各地にたくさん出来たことを難ずる人があり、或はそのような面もあるかも知れぬが、しかし私は大学になつたために学問の進歩が大いに助長せられたと思う。近来学会が一般にいよいよ盛大に、その内容も立派になつて来たのはこの点が大いに関与していると思う。ただあまり大きくない都市に於ていくつかの公的総合病院が分立している如き場合には適宜に合同して充実した病院にするのはよいかも知れない。

この学会は Freiburg の Prof. H. Drückrey の講演を以て終り、次回は京都府大、次々回は和歌山大学と決定された。



訂正 第3巻第12号の表紙及び総目次の5頁と10頁に著者名荒川忠徳とあるのは荒川保徳が正しいのであります 深くお詫び致します。



本号の発行期日が諸般の都合によつて多少遅れましたことをお詫び致します

購読要項

1. 発行は毎月(年12回)とする。年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間料金 1,000円を前納する。1冊料金100円、払込みは振替口座番号京都 4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は年間購読者に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。
例。中野：泌尿紀要、1：110、昭30。Lazarus, J. A. : J. Urol., 45 : 527, 1941.
5. 300語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。
6. 掲載料は4頁迄毎頁 500円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈。それ以上は実費を徴収する。この場合には予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は編集者が行方が希望により著者校正とする。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部